

幹細胞評価基盤技術研究組合（略称：幹細胞組合）の概要

設立年月日：平成23年2月16日

理事長：吉岡 康弘（富士フィルム(株) 参与）

組合員：（24企業2国開1団体）エイブル(株)、(株)オンチップ・バイオテクノロジーズ、(株)クラレ、(株)サイフーズ、(株)ジェイ・エム・エス、澁谷工業(株)、(株)島津製作所、住友ベークライト(株)、ゼノアックリソース(株)、大日本印刷(株)、大陽日酸(株)、タカラバイオ(株)、玉井化成(株)、(株)DNAチップ研究所、(株)ニコン、日産化学工業(株)、ニプロ(株)、日本光電工業(株)、パナソニック プロダクションエンジニアリング(株)、富士フィルム(株)、藤森工業(株)、(株)堀場製作所、(株)リプロセル、和光純薬工業(株)、(国)産業技術総合研究所、(国)国立成育医療研究センター研究所、(一財)バイオインダストリー協会

事業費：平成28年度10.1億円

事業の概要：再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発

○組合設立の目的

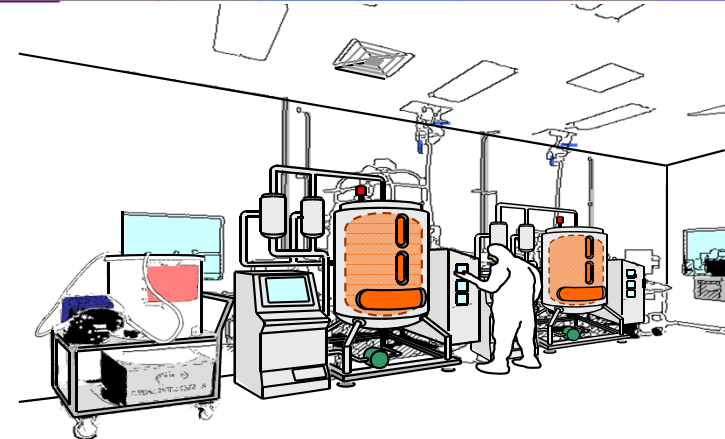
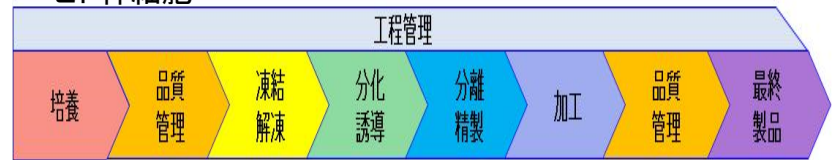
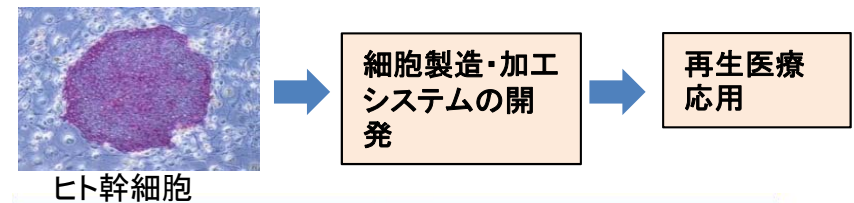
組合員の協同によるヒト幹細胞実用化に向けた評価基盤技術の開発に関する試験研究その他組合員の技術水準の向上及び実用化を図るための事業を行う。

○実用化の方向性

製造システム開発に向けて効率化／低コスト化等の余地がある個別要素技術につき、高機能化、アップグレード対応を図り、実用化を実現する。

○事業化の目途の時期

本PJの終了時に、実用的かつ最新の設計指針を実現し、数年後に製造システムの製品化を目指す。PJ期間中においても、製品化可能なものは、随時、市場に出していく。

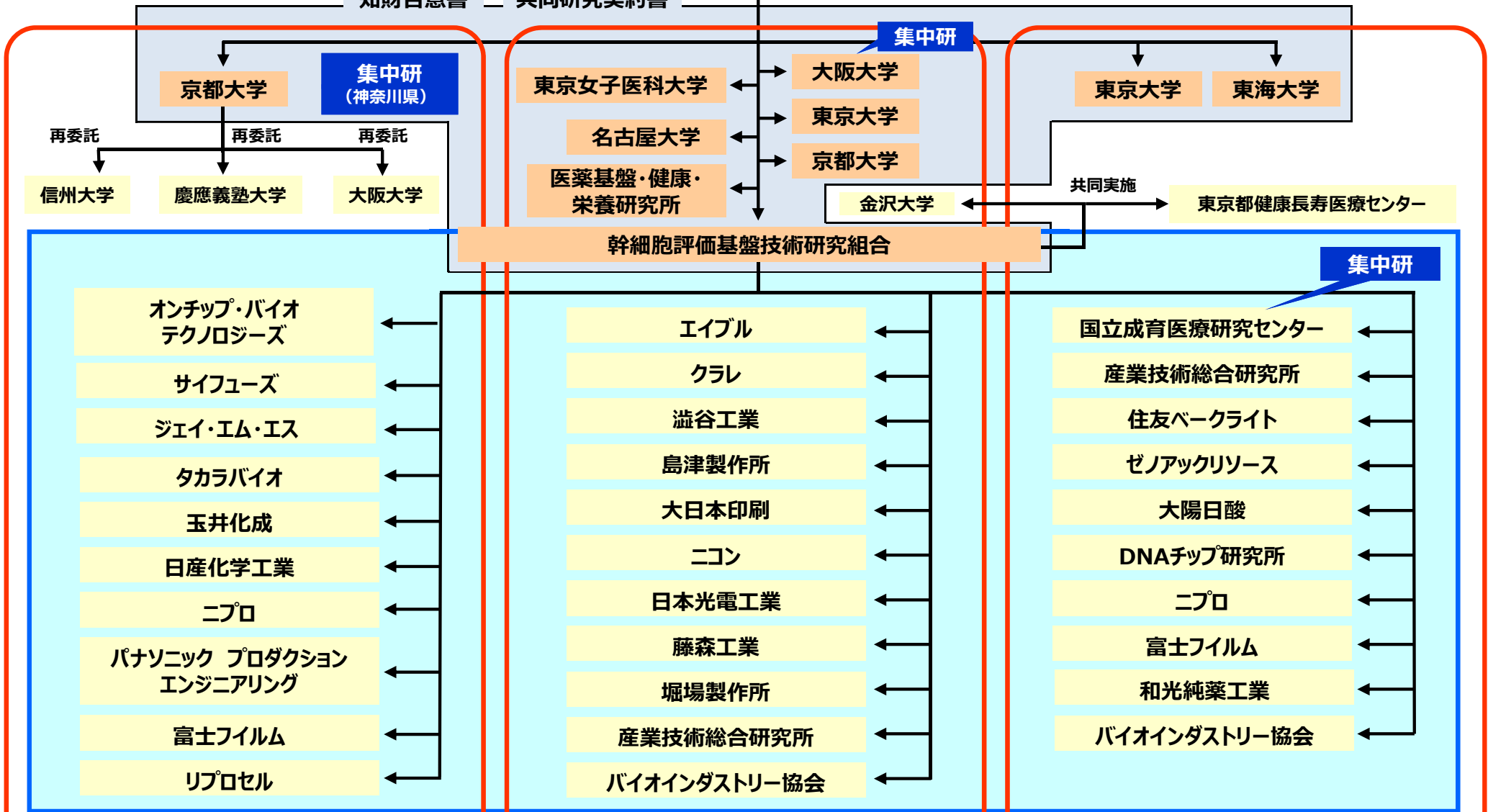


・研究開発体制

AMED

PS : 中畑 龍俊 (京都大学教授)

知財合意書 共同研究契約書



**ヒト多能性幹細胞
(心筋・神経細胞)**

サブPL : 中辻 憲夫 (京都大学教授)

**ヒト多能性幹細胞
(網膜色素上皮・肝細胞)**

サブPL : 紀ノ岡 正博 (大阪大学教授)

ヒト間葉系幹細胞

サブPL : 阿久津 英憲 (国立成育医療研究センター部長)